

2023年10月20日
株式会社大京

2050年、人生の価値を高める究極のレジデンスとは？ THE LIONS JOURNEY 未知をゆくレジデンス ～DESIGNART TOKYO 2023に出展～

株式会社大京（本社：東京都渋谷区、社長：深谷 敏成）は、このたび、DESIGNART TOKYO 2023（期間：2023年10月20日～10月29日）に出展し、人生の価値を高める2050年の住まいを構想した展示「THE LIONS JOURNEY 未知をゆくレジデンス」を公開しますのでお知らせします。また、本日より THE LIONS JOURNEY の特設サイトを開設します。



「THE LIONS JOURNEY」PROJECT : <https://lions-mansion.jp/thelions/project/>
「THE LIONS JOURNEY」FUTURE VISION : <https://lions-mansion.jp/thelions/journey/>

大京は、2023年4月に分譲マンションブランドを「THE LIONS」へリブランドしました※。新たなブランド浸透を図ることを目的とした全社員参加型の「DAIKYO NEXT ONE PROJECT」では、ウェルビーイング研究の第一人者である石川善樹氏や、飛躍的な未来を構想する Future Vision Studio の榊良祐氏などとのセッションを通じて、未来の住まいや生活スタイルがどのように変化していくのかなどの議論を重ねてきました。また、これらのコンセプトを建築家の豊田啓介氏とともに「THE LIONS JOURNEY 未知をゆくレジデンス」としてまとめました。

このたび出展する DESIGNART TOKYO 2023 では、2050年における人生の価値を高める健康的で幸せに生きるためのレジデンスのコンセプトを示すとともに、来場者にこれらの世界観を体感いただきます。

また、コンセプトなどを表現した「THE LIONS JOURNEY」PROJECT と、2050年のレジデンスを具体的に表現した「THE LIONS JOURNEY」FUTURE VISION の2つの特設サイトを公開します。2050年の住まいに関するデザインや居住空間などをCGビジュアルとともに掲載しており、時空を超えた住まいで暮らすイメージをぜひお楽しみください。

大京は今後もお客さまのニーズにお応えする快適な住まいづくりに努めてまいります。

※ [2023年4月10日付ニュースリリース：ライオンズマンションの事業開始から55年「THE LIONS」へリブランド](#)

以上

<報道関係者からのお問い合わせ先>
オリックス株式会社 グループ広報・渉外部
TEL : 03-3435-3167

■ 「THE LIONS JOURNEY 未知をゆくレジデンス」コンセプト



2050年、社会や環境がどのように変化し、その時代に暮らす人々の価値観がどのように変化しているのかを予測し議論した社員参加型の共創ワークショップを通じて、多くのアイデアを集積。そこから導き出されたのが「移動し続けるマンション」というコンセプトです。

窓から見える景色は日々変化し、各地のポートを巡りながら暮らす中で、常に多様な出会いや居場所を生み出し、人生の可能性を拓き続ける。従来の「不動産」という概念を根底から覆

す飛躍的なビジョンが誕生しました。

海の上を旅し、常に発見と出会いにあふれた人生を送ることができる新しい移動型レジデンスは、2050年における多拠点居住が極まったコンセプトを表現しています。レジデンス自体が移動し、時にはレジデンスが他のレジデンスや陸地と有機的に繋がることで、そこに住まう人に新たな発見や変化とともに、人や社会を超えた大いなる自然とともに生きているという感覚をもたらします。さらに、暮らせば暮らすほど、環境や社会により良い再生と循環を生む「REGENERATIVE SYSTEM」を見据えた、そのようなレジデンスこそが2050年に生まれるであろう「人生の価値を高める」ための理想のTHE LIONSである、という方向性のもと、豊田氏によってコンセプトイメージに落とし込まれています。



※画像はすべてイメージです。

■「DESIGNART TOKYO 2023」へのブース出展

「DESIGNART TOKYO 2023」は国内最大級のアートとデザインの祭典。本イベントでは、毎年時代の先を行くテーマを設け、注目を集めるオフィシャルエキシビションを展開しており、今年も2050年という未来を見つめ、アジアの未来のスターデザイナーが集結する展示「ASIA CREATIVE RELATION」を開催します。「THE LIONS」の特設ブースは、「ASIA CREATIVE RELATION」の一環として、青山通りに面した全面ガラスのファサードを持つワールド北青山ビル1階（東京都港区北青山3-5-10）に出展します。

DESIGNART TOKYO 2023 概要

会 期：2023年10月20日（金）～10月29日（日）

開 催 エ リ ア：表参道・外苑前・原宿・渋谷・六本木・広尾・銀座・東京

主 催：DESIGNART TOKYO 実行委員会

オフィシャルWEBサイト：<https://designart.jp/designarttokyo2023/>

■プロフィール

noiz 豊田啓介

1972年、千葉県出身。1996～2000年、安藤忠雄建築研究所、2002～2006年、SHoP Architects（ニューヨーク）を経て、2007年より東京と台北をベースに建築デザイン事務所 noiz を蔡佳萱と設立、2016年に酒井康介が加わる。2020年ワルシャワ（ヨーロッパ）事務所設立。2017年「建築・都市×テック×ビジネス」をテーマにした領域横断型プラットフォーム gluon を金田充弘と設立。コンピューテーショナルデザインを積極的に取り入れた設計・開発・リサーチ・コンサルティング等の活動を、建築やインテリア、都市、ファッションなど、多分野横断型で展開している。2025年大阪・関西国際博覧会 誘致会場計画アドバイザー（2017年～2018年）。建築情報学会副会長（2020年～）。大阪コモングラウンド・リビングラボ（2020年～）。2021年より東京大学生産技術研究所特任教授。

公益財団法人 Well-being for Planet Earth 代表理事 石川善樹

1981年、広島県生まれ。東京大学医学部健康科学科卒業、ハーバード大学公衆衛生大学院修了後、自治医科大学で博士（医学）取得。公益財団法人 Wellbeing for Planet Earth 代表理事。「人がよく生きる（Good Life）とは何か」をテーマとして、企業や大学と学際的な研究を行なう。専門分野は、予防医学、行動科学、計算創造学、概念進化論など。

Creative Director / Future Vision Studio 代表 榎良祐

2004年 Art Director として電通入社。2020年より未来の飛躍可能性をデザインする「Future Vision Studio」を設立。VUCAの時代に適応したビジョンドリブン型の事業開発を提唱し、多様な企業・産業のクライアントとの未来開発を共創・推進している。これまでの未来開発の経験を「未来妄想学」として体系化し、2023年より東京大学の非常勤講師を務める。未来食産業共創プロジェクト”OPEN MEALS”を主催。フードテックアーティストとして活動。近年のプロジェクトに、宇宙食市場共創プロジェクト”space foodsphere”。スポーツを軸にした都市開発『北海道ボールパーク』。東京都との『東京防災』プロジェクトなどがある。グッドデザイン金賞ほか国内外受賞多数。